教育課程の編成および実施に関する方針

当校は、学生にエンタテインメントの基礎と応用を体得させ、エンタテインメントの表現や創作をより実現性をもった作品へと落とし込むための能力を身につけさせるための組織的な教育の実施を行います。具体的には、エンタテインメントの綜合的理解と作品を構築していくための基礎を形成する基礎科目、各エンタテインメントの流れを実践的に学ぶ実践科目、エンタテインメントを構築する方法及び新たな企画やコンセプトを実現可能にする方法の習得を行う展開科目（進級、卒業制作など）、企画やコンセプトを具体的に制作して他社に見せることのできる「エンタテインメント作品」に落とし込む実践的なトレーニングを行う演習（各種プロジェクト）を実施します。

当校は、修業年限以上在学し、所定の単位数の修得や必要な演習を受けるとともに、下記の能力を身につけ、修了審査に合格した学生に対して修了を認定します。

（1）観る人の心を動かすことのできる発想力と表現力をともに備えたうえで、その企画やコンセプトを理想的な技術で描き出すことのできる能力を身につける。
（2）いかなる環境や状況においても、開かれた視野を持ち、広く解決方法を発見し、その作品への意図やコンセプトを描くことに挑戦できる能力を身につける。
（3）エンタテインメントがもたらす感動や興奮を論理的で実践的な制作・創作体験を通じ見出し、他者と協力しながら制作できる能力を身につける。

カリキュラム概要

学期制度　当校では1年間を前期と後期に分けた2期制を採用し、それぞれ15週間（試験期間、イベント週間を含む）から成ります。
※高等課程は1年間で35週間からなります。

授業時間帯

1時限目	9：20～10：50	（昼間開講制）
2時限目	11：00～12：30	
3時限目	13：30～15：00	
4時限目	15：10～16：40	
5時限目	16：50～18：20	
6時限目	18：30～20：00	

履修時間数　1コマ（1時限枠）＝90分の授業を各期原則15コマ履修します。

（例）

	月	火	水	木	金	土/日	
1	語学①	＊＊基礎	★★演習	▲▲基礎		ライブ・イベント・現場実習などが行われる予定です。	
2	一般教養						
3		★★制作			★★制作		
4	語学②	★★制作					
5	＊＊応用						
6							
7							
			↑ 2コマ連続授業	↑ 3コマ連続授業	↑ 3コマ連続授業		

単位認定　各学期の試験期間終了後、別記規程の評価、出席率を充たしている科目について、それぞれ以下のように単位認定します。

（専門課程）

科目のコマ数　×　2単位　＝　科目の単位数

また、通常授業での年間修得単位数は、

前期15コマ×2単位　＋　後期15コマ×2単位　＝　60単位

となります。

（高等課程）

科目のコマ数　×　1単位　＝　科目の単位数

また、通常授業での年間修得単位数は、

前期15コマ×1単位　＋　後期15コマ×1単位　＝　30単位

となります。

履修システム

複数の専門分野について学んだり、他の分野のことを通して自身の専攻する分野に役立てたりするために、また、他の分野との共同作業を行う上で必要なコミュニケーションの能力を養うために「マルチメジャーシステム」を採用しています。そして、各学期の開始前に履修アンケートやカウンセリングを行い、学生の皆さんと担任とが協議しながら将来の方向性に合わせたカリキュラムを構築していく「インフォームドコンセント」の考え方で2年間のプログラムを組み立てています。

カリキュラムの構成

●ファンデーション・カリキュラム（基礎講座）
エンタテインメントの業界で仕事をしていく上で必要となる基本的なスキルを学ぶためのカリキュラムです。各学科、コースごとに履修科目、履修期間が設定されています。

●スペシャライズ・カリキュラム（専門講座）
各学科、コースの分野について専門的なスキルを学ぶためのカリキュラムです。マルチメジャーシステムによって、他の専門分野について学ぶ場合は、このカテゴリーから履修することになります。

●プロジェクト・カリキュラム（実践講座）
プロの現場に近い環境での共同作業や実技を通して、コミュニケーション能力や即戦力を養うためのカリキュラムです。全学科、コースの在校生が協力して、あらゆるメディアの制作を行っていきます。イベントやプロジェクトごとに役割に応じた設定があり、自分にあったステップで学ぶことができます。

●特別科目
通常授業とは別に行われる科目群で、以下のものがあります。
特別講義、実学研修、進級制作、業界研修、就職・進路対策プログラム、卒業制作

以上の組み合わせで、2年間のカリキュラムが構成されています。

●転入学、編入学、マイスクール等により本校入学以前に履修された学習内容を、本校の教科課程の該当科目の単位として認定する場合があります。

各年次のカリキュラム

各課程、各学科、コースごとの教科課程を参照してください。
（カリキュラムおよび科目内容の詳細については、業界の変化に対応し、一部変更することがあります。）